

# 2200日の物語 ～芝根の名のもとに～

第18話 (R03.09.22)

## ～ 第1回 学校評価のアンケート結果 ～

評価項目		保護者	児童
保護者への情報提供	1 学校や児童の様子を保護者に伝え、理解を得ていますか。	94%	
連携のための環境作り	2 保護者は、学校の諸行事に参加していますか。	93%	
保護者への対応	3 保護者は、学校に連絡・相談しやすいと思っていますか。	84%	
わかる授業	4 児童は、授業が分かり、満足感や達成感を味わっていますか。		94%
学習習慣	5 家庭で自主的に学習や読書をする習慣が、児童に身に付いていますか。	56%	61%
挨拶や言葉遣い	6 進んで挨拶をする児童が、育っていますか。	75%	91%
	7 時・場・相手に応じた適切な言葉遣いが、できていますか。	73%	88%
いじめのない人間関係	8 児童は、楽しく学校に通っていますか。	94%	92%
	9 相手の立場に立って物事を考えることができる児童が育っていますか。	87%	97%
	10 いじめの早期発見に努め、いじめの事実があると疑われるときは、すぐに対応していますか。	87%	83%
学校や家庭のルール	11 学校のきまりや約束を守って生活する児童が、育っていますか。		95%
基本的な生活習慣	12 児童は、早寝早起きの習慣ができていますか。	79%	87%
体力作り	13 健康で体力のある体をつくろうとする児童が、育っていますか。	80%	81%
地域の安全対策	14 学校・家庭・地域は連携して、交通安全指導や通学路の点検・パトロールを行っていますか。	91%	
夢や希望	15 自分の夢や希望について考えられる児童が、育っていますか。	72%	84%
	16 児童に自己有用感や自己肯定感が、育っていますか。	95%	75%
学校支援センター	17 教育活動の必要な場面で、地域の教育力を効果的に活用していますか。	86%	

保護者の皆様と児童には、第1回学校評価のアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。アンケート結果から、本校の課題が見えてきました。

次に、課題解決の改善策を裏面に示します。これらを踏まえて、今後の教育活動を行っていきます。

## ☆目標と改善策☆

### 【保護者からの相談】

**目 標** 「学校に連絡しやすい」と答える保護者を90%以上にする。

**改善策** 職員が情報を共有化し、同一步調で児童や保護者に関われる。家庭との連携を密にし、保護者に寄り添った相談を心がけ、学校に相談しやすい環境作りに努める。

### 【学習習慣】

**目 標** 「家庭で自主学習に取り組んでいる」と答える児童を80%以上にする。

**改善策** 「家庭学習の手引き」とリンクした家庭学習カードの取り組みを継続するとともに、宿題等の家庭学習の出し方や意欲付けの工夫を行う。自主学習ノートの活用例を児童に示し、自主学習を推奨する。図書委員会と連携することにより、読書を推奨し、学校や町の図書館の利用を啓発する。

### 【挨拶や言葉遣い】

**目 標** 進んで挨拶できる児童を80%以上にする。

**改善策** 特別な教科「道徳」や特活の時間だけでなく、挨拶の意義やよさについて機会を捉えて指導し、日常的に挨拶する機会を増やす。学校と家庭が連携して挨拶を交わす環境をつくる。

**目 標** 時・場・相手に応じた適切な言葉遣いができる児童を80%以上にする。

**改善策** 全職員で、時・場・相手に応じた適切な言葉遣いについて、機会を捉え指導する。

### 【いじめのない人間関係】

**目 標** 「いじめの早期発見に努め、いじめの事実があると疑われたときは、すぐに対応している」と答える教員を100%にする。

**改善策** 毎月実施の「仲良しアンケート」によるいじめの早期発見と指導、児童一人一人に目を配った学級経営、全職員で連携して児童を見守る態勢の強化を通して、粘り強く指導を行う。道徳教育や人権教育の充実を図る。保護者との連携を密にし、相談しやすい関係をつくる。スクールカウンセラーを活用し、専門家の意見を取り入れながら対応する。

※教職員は100%でしたが、保護者・児童も100%にしたいと思います。

### 【基本的生活習慣】

**目 標** 「早寝・早起きの習慣ができています」と答える保護者を90%以上にする。

**改善策** 教育相談、学級懇談会や各種通信等を利用して、保護者に生活習慣の改善を働きかける。「生活カード」の取り組みや保健委員会と連携した活動により、早寝・早起き・朝ご飯やアウトメディアについて啓発・推奨する。

### 【夢や希望】

**目 標** 「将来の夢や希望について考えたり話題にしたりしたことがある」と答える児童や保護者を80%以上にする。

**改善策** 職業観の育成を系統的に行う。生活目標づくりを通して、夢や希望を持って努力することの大切さを指導する。各種通信を通して、家庭でも夢や働くことの意義について話し合えるようにする。キャリアパスポートの取り組みにより、自身の学習や生き方を見直し、計画を立てて生活する姿勢を育てる。

**目 標** 自分のことが好きだと答える児童を80%以上にする。

**改善策** 学習、係・委員会活動、行事等を通して、生きる力を育む。児童の活動を見取り、そのよさを認めて、機会を捉えて本人や家庭に伝える。QU（楽しい学校生活を送るためのアンケート）の結果を活用し、個に応じた適切な指導を行う。